

報告第 2 2 号

令和 7 年度一般財団法人宇治市福祉サービス公社事業並びに
決算の報告について

地方自治法第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和 7 年度一般財団法人宇治市福祉サービス公社事業並びに決算について、別紙のとおり報告する。

令和 8 年 9 月 1 5 日提出

宇治市長 松 村 淳 子

8 一財字福公第 193 号
令和 8 年 7 月 7 日

宇治市長 松村 淳子 様

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 栢木 利和



2025 年度（令和 7 年度）一般財団法人宇治市福祉サービス公社
事業報告書及び決算報告書の提出について

上記のことについて、一般財団法人宇治市福祉サービス公社の理事会及び評議員会において別添の通り承認されましたので報告いたします。

理事会議案第 1 号
評議員会報告第 1 号

「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2025 年度（令和 7 年度）事業報告書」について

一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2025 年度（令和 7 年度）事業報告を次のとおり報告する。

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 栢 木 利 和

令和 8 年 5 月 28 日 理事会 提出・可決
令和 8 年 6 月 23 日 定時評議員会 報告

2025

令和 7 年度

事業報告書

更なる職員間の連携強化と公社の魅力発信
～相互理解を深め、働きやすい職場環境を共につくろう～



利用者とともに 市民とともに
～利用者本位のあたたかいサービスの提供～

一般財団法人宇治市福祉サービス公社

2025 年(令和 7 年)度 事業報告書

目次

I 事業計画の総括(事業方針と重点項目)

総括・重点項目実施状況	P1
-------------	----

II 理事会・評議員会等開催状況報告

(1) 理事会開催状況	P7
-------------	----

(2) 評議員会開催状況	P9
--------------	----

III 役員・評議員等名簿	P10
---------------	-----

IV 事業実績

・公社独自事業	P11
---------	-----

・介護保険事業	P14
---------	-----

・障害者総合支援事業	P18
------------	-----

・宇治市受託事業	P20
----------	-----

事業計画の総括(事業方針と重点項目)

理事会・評議員会開催状況報告



【笑顔戦隊介護マンショー】



【うじのふくしで働く人パネルディスカッション】

宇治市高齢福祉事業者等協議会設立 1 周年記念事業「うじのふくしで働く人展」



【写真家 下坂厚氏撮影による写真を使用したパネル】

I 事業計画の総括(事業方針と重点項目)

総括

2023 年(令和 5 年)度、2024 年(令和 6 年)度と、2 期連続で黒字基調を継続できたことにより、2025 年(令和 7 年)度は、職員の基本給の引き上げ等の処遇改善を図るとともに、更なる経営状況の安定化に向けて取り組んだ。

介護保険事業(訪問介護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業)並びに障害者総合支援法による事業等の収益事業が前年度の収支実績を下回ったものの、事業全体の収支差額は、過去 2 年間に引き続いて黒字を確保することができた。

対前年度比で収支差額を下回った理由としては、介護保険事業において、それぞれに人員体制上の問題や、中・重度利用者の減少に対して新規利用者の確保が追い付かなかったことが挙げられる。そして、それ以上に深刻な課題となっているのが、ホームヘルパーをはじめとする介護人材の確保が益々困難となってきたことにある。

こうした中、一昨年 7 月に発足した「宇治市高齢福祉事業者等協議会」において、公社が事務局の役割を担いながら、関係法人との定期的な意見交換を重ねる中で、課題となっている福祉人材の発掘や育成等について、宇治市と共に各法人が連携して取り組むことにより、今後その対策の具現化が講じられていくことが期待されている。

また、2023 年(令和 5 年)度から 5 カ年を計画期間とした「中期経営戦略計画」の中間年にあたる本年度は、計画の中間総括を行い、新たに発生した課題等も踏まえて更新計画を策定し、残りの 2 年間で本計画に沿って取り組んでいくこととした。計画の重点項目として掲げる事業や、財務運営上の達成すべき数値目標、経営指標の改善目標である人件費率等、厳しい中でも役職員が一丸となって取り組み、計画上設定した目標については達成することができた。

重点項目実施状況

2025年(令和7年)度の重点項目については以下の通り取り組んだ。

1. 宇治市の協働パートナーとして地域福祉の推進に寄与し、公社の存在価値を高める取り組み

- ① 市内在宅保健福祉サービスを手掛ける先駆的な法人として、「利用者本位のあたたかいサービスの提供」を実行する。

【結果】

- ・方針説明会開催による事業方針の周知と、倫理規則の再徹底
- ・月 2 回の経営会議、月 1 回の部門毎の係長会議の開催によるサービス品質の向上

- ② 指定管理を受けている地域福祉センターを活動拠点として地域住民から公社は地域になくてはならない存在であることをアピールするため、関係団体との協働による地域密着型事業の取り組みを行う。

【結果】 ＊各事業所の地域密着型事業の取り組み状況

事業所	取り組み内容
中宇治事業所	・「地域元気博」の開催(11 月 2 日) ・地域の環境美化活動(ガーデニングボランティア、宇治支援学校の生徒によるガーデニング活動への協力) ・専門職の講師派遣
西小倉事業所	・西小倉民生児童委員協議会主催の輪投げ大会への共催(6 月 14 日) ・南小倉小学校 5 年生を対象としたデイサービス利用者交流事業と出前講座の実施 ・認知症事業で収穫した「万願寺唐辛子」の販売 ・地域から依頼を受け「介護教室」を実施(10 月 26 日) ・「にしおぐら de おさんぽラリー」の開催(11 月 9 日) ・西小倉自治連合会の新春祝賀会への参加(1 月 17 日) ・南小倉小学校 5 年生 40 名との交流会を実施(3 月 5 日)
東宇治事業所	・映画鑑賞会の開催 ・健康マージャンの開催 ・「ぽっぽフェスタ」の開催(11 月 2 日) ・同志社女子大学から教職課程の実習生、木幡中学校より職場体験学習の受け入れ ・防災セミナーの開催(12 月 14 日) ・地元自主防災会と共同で非常災害訓練を実施
広野事業所	・大開学区福祉委員会の配食事業に職員を派遣 ・広野中学校生徒会の福島ひまわり里親プロジェクトに参加 ・スマートフォン講座中級コースの開催 ・城南荘木曜カフェに講師派遣(8 月、12 月) ・地域住民と共に非常災害訓練を実施(11 月 17 日) ・コミュニティカフェ 2025 の開催(12 月 21 日) ・「居場所づくりをすすめる会」の発足

- ③ 宇治市の協働パートナーとして宇治市担当課との定例協議を継続し、宇治市の介護保険等の施策に対して専門セクターとして各種提案、提言を行い、宇治市と共に取り組む。

【結果】

・宇治市長寿生きがい課及び介護保険課と定例協議を毎月開催

- ④ 宇治市高齢福祉事業者等協議会の事務局としての役割を果たし、介護福祉業界の共通課題に対し関係法人等との連携により取り組む。

【結果】

・協議会設立 1 周年記念事業「うじのふくしで働く人・展」を開催(7 月 31 日)
 ・京都福祉専門学校のウェルカムフェアへの参加(11 月 15 日)
 ・宇治市役所での「うじのふくしで働く人口ビー展」開催(12 月 15 日から 19 日)
 ・先進施設視察研修の開催(1 月 19 日 大阪府堺市のハートピアさかい)

2. 介護保険事業等の収益事業の安定化を図る取り組み

- ① 介護保険等改正の内容を踏まえて法令遵守に則りつつ、利用者ニーズに的確に応えていけるよう柔軟な発想でサービス提供を行う。

【結果】

- ・サービス種別毎に係長会議を毎月開催
- ・京都府、宇治市からの運営指導の受け入れ

- ② 安定経営と処遇改善を両立するために、安定した収入を得られるよう、事業毎に達成すべき数値目標を設定する。

【結果】

- ・月 2 回の経営会議と月 1 回の係長会議開催による経営状況の見える化

- ③ 公社人材育成計画に則り、公社で働く職員が各々の専門性を遺憾なく発揮し、自信を持って業務に当たれるよう、社内教育・研修に取り組む。特に新人育成についてはメンタルヘルス対策も含めて万全を期する取り組みを行う。

【結果】

- ・年間の研修計画に基づく社内研修の実施及び必要な外部研修への職員派遣
- ・新人メンタルヘルス研修を実施(7 月・11 月)
- ・ケアマネジャーの更新研修やサービス提供責任者の現任研修を受講
- ・スキルアップ研修としてサービス提供責任者に「相談支援従事者(初任者)研修」を受講
- ・介護福祉士国家資格取得受験対策講座を開催
- ・管理・監督者研修として介護労働安定センターに委託し、5 回シリーズの「NVC 研修」を実施

3. 中期経営戦略計画期間中(2023 年度～2027 年度)における重点施策への取り組み

- ① 障害者サービスの事業拡充について(ヘルプサービス係・障害者相談支援センター係)

昨年度実施した市内障害者相談支援事業者への聞き取りや障害部門における経営分析を踏まえて、引き続き障害者サービスの事業拡充のために必要な体制整備を図るよう努める。

【結果】

- ・居宅介護支援事業所、障害者相談支援事業所を対象に公社訪問介護サービスに関するアンケート調査を実施(回答率 53.6%)
- ・サービス提供責任者を対象に、外部講師を招き研修会「コミュニケーションについて考えてみよう」を開催
- ・市内法人が実施する「訪問援助サービスのこれからを考える」シンポジウムにパネラーとして参加

- ② 居宅介護支援事業所の拠点集約化について(ケアマネジメント係)

拠点集約化にあたっては市民の利便性を考慮し、いわゆるサテライト方式を中心に検討を進めてきたが、これに関わらず今後の居宅介護支援事業及び介護支援専門員の動向を見定めながら、拠点集約化の方法について検討し、許認可権をもつ宇治市と引き続き協議を行う。

【結果】

・2026 年(令和 8 年)4 月 1 日での事業統合を行った。

③ 効率的で実効性のある組織の再編について(事務局総務係)

総務係の人事配置を改めた上で、これまで事務局総務係内のプロジェクトで整理された課題に沿って引き続き業務見直しを行う。

【結果】

・ICT 等の展示会に職員派遣
・宇治市高齢福祉事業者等協議会主催の先進施設視察に職員を派遣

④ 多様な働き方と定年後の再雇用について(経営会議)

正規職員の定年延長については方向性が示されており、今後は 65 歳定年後の働き方や、75 歳以降の継続雇用の在り方について、職員の確保、定着と併せて年代ステージに応じた、安心して働き続けられる労働条件等の整備を図る。

【結果】

・これまで 70 歳までで雇止めとしていた事務職、サービス提供責任者について78歳までの就労を可能とする規定の改正
・定年を 63 歳とする就業規則及び関連する規定の変更
・再雇用契約職員の雇用終了年齢を 65 歳から 66 歳に引き上げの実施

4. 働きやすい職場環境づくりの更なる取り組み

- ① 「働きやすい職場環境づくり委員会」を中心に、ハラスメント防止に資する取り組みに重点的に取り組む。
- ② 職員間の円滑なコミュニケーションを図れるよう、「ES 向上委員会」活動の充実や、職員の人権意識の高揚を目的とした研修の開催等に取り組む。
- ③ 引き続き業務省力化、改善のための ICT 活用、介護機器導入について情報収集を行い、国の補助事業等を活用し、必要な機器等の導入を図る。

【結果】

・業務改善や ICT 活用にかかる展示会への職員派遣
・ハラスメントに関するアンケート調査を実施
・職員間の交流を促すランチ企画、ギフト企画の実施

部門別重点項目

① 介護保険部門

「中期経営戦略計画」に位置付けられた、介護保険事業各部門において掲げられた目標及び年度毎の達成目標の完遂のため、各々必要な措置を講ずるとともに、半期毎に成果を検証する。

【結果】

・月 2 回の経営会議と月 1 回の係長会議の開催、及び毎月のマンスリーレポートの発出

② 障害者総合支援法部門

ヘルプサービスにおける介護保険と障害者総合支援法のサービス提供割合(目標値)を定めて、障害サービスの供給量を増やすことで、障害サービス事業の拡充を図る。そのために引き続き障害サービス専従のヘルパーの確保についても努める。

【結果】

- ・居宅介護支援事業所、障害者相談支援事業所を対象に公社訪問介護サービスに関するアンケート調査を実施(回答率 53.6%)
- ・サービス提供責任者を対象に、外部講師を招き研修会「コミュニケーションについて考えてみよう」を開催
- ・市内法人が実施する「訪問援助サービスのこれからを考える」シンポジウムにパネラーとして参加

③ 宇治市からの受託事業部門

宇治市の協働パートナーの立場を具体的に示す事業として、地域包括支援センターや介護予防事業をはじめとする市委託事業の受託は公社の活動拠点である地域福祉センターの指定管理の維持継続も含めて重要な事業である。よって、中・長期の視点に立って担当課と定期的な協議の場を設定し、専門セクターの立場から積極的に市に提案を行う。

【結果】

- ・宇治市長寿生きがい課と介護保険課と定例協議を毎月開催

④ 公社独自事業部門

人材確保が困難を極める中、「ほほえみ介護塾」は重要な事業であり、引き続き質の高い研修が提供できるよう講師育成にあたり、ケアワークの技術の向上を図る。

その他、介護保険外サービス(ほほえみサポート)については昨年度の計画で派遣体制の見直しを謳ったが、当面の間、これまでの派遣体制を維持する。

【結果】

- ・最少催行人数の 4 名に達し開講(10 月から 2 月まで)
- ・ほほえみ介護塾は受講者 4 名が修了し、うち 1 名がアルバイトとして入職

⑤ 事務局総務部門

「中期経営戦略計画」に位置付けられた事務部門の課題解決に向けて、まずは人事労務・給与・財務等の事務作業の効率化、処理能力の確実性を図るための業務見直しに努める。

併せて公社事務部門の、業務手順や経験の継承を中心に事務職員の育成にあたる。

【結果】

- ・ICT 等の展示会に職員派遣
- ・宇治市高齢福祉事業者等協議会主催の先進施設視察に職員派遣

Ⅱ 理事会・評議員会等開催状況

(1) 理事会開催状況

第 94 回 理事会 [2025 年(令和 7 年)5 月 27 日開催]

議案第 1 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024 年(令和 6 年)度事業報告書(案)」について
議案第 2 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024 年(令和 6 年)度決算報告書(案)」について
議案第 3 号	「定時評議員会(第 34 回評議員会)の招集及び提出議案」について
報告第 1 号	「理事長等執務報告」について
報告第 2 号	「2024 年(令和 6 年)度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第 3 号	「2025 年度 夏季賞与、特別賞与の支給」について

第 95 回 理事会 [2025 年(令和 7 年)6 月 20 日開催]

議案第 4 号	「代表理事(理事長)及び副理事長並びに専務理事」の選定について
議案第 5 号	「参与の委嘱」について
議案第 6 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程の一部改正」について
議案第 7 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 公印規程の一部改正」について
報告第 4 号	「宇治市全員協議会での公社への質問内容」について
報告第 5 号	「第 5 期一般財団法人宇治市福祉サービス公社 人材育成計画」について

第 96 回 理事会 [2025 年(令和 7 年)8 月 1 日開催] (みなし理事会)

議案第 8 号	「第 35 回評議員会の招集及び提出議案」について
---------	---------------------------

第 97 回 理事会 [2025 年(令和 7 年)8 月 8 日開催]

報告第 6 号	「理事長等執務報告」について
報告第 7 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2025 年(令和 7 年)度第 1 四半期事業実績報告」について
報告第 8 号	「宇治市出資法人自己評価報告書」について

第 98 回 理事会 [2025 年(令和 7 年)9 月 5 日開催] (みなし理事会)

議案第 9 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第 10 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について

第99回 理事会【2025 年(令和 7 年)11 月 4 日開催】

議案第 11 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について
議案第 12 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第 13 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員退職金規程」の一部改正について
議案第 14 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
議案第 15 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第 16 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 中期経営戦略計画更新計画(案)」について
報告第 9 号	「理事長等執務動静」について
報告第 10 号	「2025 年(令和 7 年)度上半期決算」について
報告第 11 号	「2025 年(令和 7 年)度上半期事業報告」について
報告第 12 号	「2025 年(令和 7 年)度上半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第 13 号	「冬季賞与の支給」について

第 100 回 理事会【2026 年(令和 8 年)1 月 29 日開催】

議案第 17 号	「一般財団法人宇治福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について
議案第 18 号	「一般財団法人宇治福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第 19 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第 20 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について
議案第 21 号	「定年退職後再雇用者の基本賃金格付け及び賞与の支給に関する取扱要項」の一部改正について
議案第 22 号	「第 36 回評議員会の招集及び提出議案」について
報告第 14 号	「理事長等執務動静」について
報告第 15 号	「2025 年(令和 7 年)度第 3 四半期事業進捗状況」について
報告第 16 号	「2026 年(令和 8 年)度事業計画・予算編成方針」について
報告第 17 号	「居宅介護支援事業所の統合」について
報告第 18 号	「令和 7 年度介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業を活用した処遇改善」について

第 101 回 理事会【2026 年(令和 8 年)3 月 27 日開催】

議案第 23 号	「西小倉事業所ケアマネジメント係の廃止」について
議案第 24 号	「福祉情報センター係の廃止」について
議案第 25 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2026 年(令和 8 年)度事業計画書(案)」について
議案第 26 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2026 年(令和 8 年)度収支予算書(案)」について
議案第 27 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局組織規則」の一部改正について
議案第 28 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第 29 号	「一般財団法人宇治福祉サービス公社 職員職名要綱」の一部改正について
議案第 30 号	「一般財団法人宇治福祉サービス公社 委員会等設置要綱」の一部改正について
議案第 31 号	「一般財団法人宇治福祉サービス公社 自主サービス実施要綱」の一部改正について
議案第 32 号	「管理職の異動」について
報告第 19 号	「理事長等執務動静」について
報告第 20 号	「2025 年(令和 7 年)度決算見込み」について

(2) 評議員会開催状況

第 34 回 定時評議員会 [2025 年(令和 7 年)6 月 20 日開催]

議案第 1 号	「理事の選任」について
議案第 2 号	「監事の選任」について
議案第 3 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024 年(令和 6 年)度決算報告書(案)」について
議案第 4 号	「評議員の選任」について
報告第 1 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024 年(令和 6 年)度事業報告書」について
報告第 2 号	「理事長等執務報告」について
報告第 3 号	「2024 年(令和 6 年)度下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第 4 号	「2025 年度 夏季賞与、特別賞与の支給」について

第 35 回 評議員会 [2025 年(令和 7 年)8 月 8 日開催]

議案第 5 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社理事の選任」について
報告第 5 号	「理事長等執務報告」について
報告第 6 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2025 年(令和 7 年)度第 1 四半期事業実績報告」について
報告第 7 号	「宇治市出資法人自己評価報告書」について

第 36 回 評議員会 [2026 年(令和 8 年)3 月 27 日開催]

報告第 8 号	「西小倉事業所ケアマネジメント係の廃止」について
報告第 9 号	「福祉情報センター係の廃止」について
報告第 10 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2026 年(令和 8 年)度事業計画書」について
報告第 11 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2026 年(令和 8 年)度収支予算書」について
報告第 12 号	「理事長等執務報告」について
報告第 13 号	「定年年齢の延伸に伴う諸規則・規程の一部改正」について
報告第 14 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社中期経営戦略計画更新計画」について
報告第 15 号	「2025 年(令和 7 年)度上半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第 16 号	「令和 7 年度介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業を活用した処遇改善とこれに伴う諸規則・規程の一部改正」について
報告第 17 号	「再雇用契約職員の現行の 65 歳定年年齢を 1 歳引き上げるための諸規則・規程の一部改正」について
報告第 18 号	「2025 年(令和 7 年)度第 3 四半期事業進捗状況」について
報告第 19 号	「2025 年(令和 7 年)度決算見込み」について
報告第 20 号	「管理職の異動」について

Ⅲ 役員・評議員等名簿

(1) 役員名簿【2026年(令和8年)3月31日現在】

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	栢 木 利 和	有識者
副理事長	笹 部 和 男	弁護士
専務理事	田 實 敬 幸	前宇治市福祉サービス公社事務局長
理 事	有 賀 や よ い	医師
理 事	五 艘 雅 孝	有識者
理 事	星 川 修	宇治市健康長寿部部長
理 事	小 松 美 恵 子	元小学校校長
理 事	平 田 研 一	認知症予防ネット理事長
理 事	原 保 彦	宇治市社会福祉協議会副会長
理 事	阿 戸 能 貴	税理士
監 事	池 田 正 彦	宇治東福社会監事
監 事	小 林 幸 大	京都銀行宇治支店長

参 与	塚 原 理 俊	前理事長
-----	---------	------

(2) 評議員名簿【2026年(令和8年)3月31日現在】

役 職	氏 名	備 考
評 議 員	岡 野 英 一	京都ボランティア協会理事
評 議 員	井 上 光 彦	宇治市連合喜老会副会長
評 議 員	神 野 君 夫	宇治久世医師会理事
評 議 員	吉 田 美 恵 子	宇治市民生児童委員協議会理事
評 議 員	堀 江 信 光	宇治市健康長寿部副部長
評 議 員	小 松 一 子	元大学教員
評 議 員	菊 池 ゆ か り	山城福社会宇治川福祉の園施設長

(3) 第三者委員名簿【2026(令和8年)3月31日現在】

役 職	氏 名	備 考
委 員	山 花 啓 伸	
委 員	高 田 智 恵 子	

※介護保険事業・障害者総合支援事業の利用者等に対しての第三者的な相談・苦情窓口

公社独自事業

＜定款第4条(1)＞ 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

＜定款第4条(2)＞ 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

＜定款第4条(10)＞ 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業



【ひがしうじぽっぽフェスタ】



【西小倉地域福祉まつりのパレード】



【広野事業所 居場所づくりをすすめる会による健康麻雀】



【中宇治地域元気博のオープニング】

公社会員の状況

賛助会員	会員数	昨年度	備考
法人会員	22	25	1口 10,000 円
個人会員	71	67	1口 1,000 円

情報誌の発行

公社情報誌「ぽっぽ」(各 2,500 部発行)を公社会員や利用者、関係機関等に配布し、知識・情報の普及啓発を行った。

◆実績

第 56 号(2025 年(令和 7 年)7 月発行)

第 57 号(2026 年(令和 8 年)1 月発行)

情報の収集と提供

公社情報誌「ぽっぽ」、公社ホームページを活用して利用者・市民に向け、公社で実施する事業の情報、求人情報の提供を行った。

また、公社の広報活動に力を入れ、特に SNS(Instagram、Facebook、LINE 公式アカウント等)を活用した情報発信に注力した。

(各種 SNS のフォロワー数と投稿数)

公式 SNS	フォロワー数	投稿数	昨年度投稿数
Instagram	1,892	105	129
Facebook	522	24	13
LINE	161	3	4
X(旧 Twitter)	227	19	

介護保険外訪問介護サービス(自主サービス) 通称「ほほえみサポート」

介護保険法で対応できない家事支援等の利用者ニーズに対して、自主サービスとして実施した。

*通院介助、一時的な掃除・整理整頓、絵画教室等への外出介助、産後ケア終了後の家事支援等

◆実績

(ほほえみサポート)

	令和 7 年度	昨年度
実人数	11 名(介護・障害・産後)	17 名(介護・障害・産後)
派遣回数	119 回	158 回
派遣時間	117 時間	194 時間 30 分

(院内介助)

	ぽっぽひがしうじ	ぽっぽ	計	昨年度
実人数	1 名	2 名	3 名	8 名
派遣回数	2 回	9 回	11 回	17 回
派遣時間	3 時間 10 分	18 時間 55 分	22 時間 5 分	32 時間 45 分

福祉人材研修事業

ほほえみ介護塾

介護人材の確保が喫緊の課題となっている状況において、ほほえみ介護塾は自社での養成事業として重要な役割を持つ事業である。今年度は当初の予定期間での応募が最少催行人員に達せず、日程を変更して再度応募したところ、定員 20 名に対して 4 名の応募であった。

その内 1 名が公社への入職に繋がった。

◆実績

実施時期	10月27日～2月18日	昨年度
受講者数	4 名	10 名
修了者数	4 名	10 名
入職者数	1 名	1 名



【在宅介護の要である公社のホームヘルパー】

介護保険事業

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第4条(4)> 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービスに関する事業

<定款第4条(5)> 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業



【デイサービスの食事介助の場面】



【デイサービスの送りの場面】



【デイサービス機能訓練の場面】



【マシンを活用した機能訓練】

居宅介護支援事業

要支援・要介護の方からの相談に応じて、利用者の希望や心身の状態等を考慮した、適切な在宅または施設のサービスが利用できるよう、各種サービス事業者との連携を図り、介護及び介護予防サービス計画の作成、サービス提供の確保を行った。

◆実績 ※一人当り給付管理は、予防給付等(事業対象者・要支援 1・2)については 1/3 件でカウント

	西小倉	東宇治	広野	中宇治	計	昨年度
介護支援専門員数	3.7 名	3.8 名	3 名	5 名	15.5 名	18.2 名
延給付管理件数	1,711 件	1,696 件	1,207 件	2,399 件	7,013 件	7,843 件
事業対象者	0	0	12	0	12	12
要 支 援 1	57	62	85	276	480	587
要 支 援 2	126	166	70	248	610	707
要 介 護 1	714	762	484	1,056	3,016	3,315
要 介 護 2	425	424	369	403	1,621	1,752
要 介 護 3	183	166	82	213	644	818
要 介 護 4	137	64	62	127	390	421
要 介 護 5	69	52	43	76	240	231
一人当り給付管理／月	35.8 件	33.9 件	30.4 件	34.2 件	33.8 件	31.9 件

◆各事業所の特徴

【西小倉】

職員の退職により 7 月以降特定事業所加算Ⅱが取得できず、特定事業所加算Ⅲの算定となった。

令和 8 年 3 月 31 日をもって、西小倉居宅介護支援事業所を廃止し、4 月 1 日より広野居宅介護支援事業所と統合することとなった。

【東宇治】

職員の産休などにより職員体制が変わり、特定事業所加算ⅡからⅢとなった。

【広 野】

新人職員を含めて 3 名体制となり、1 月から 3 月までの期間、西小倉居宅介護支援事業所との統合に向けての引継ぎを行った。

【中宇治】

年度末での退職者があり、引継ぎの関係で一時的に新規受付を止めたことにより、サービス利用者が減少したが、その後、3 月 1 日付で後任の介護支援専門員が確保できた。

訪問介護事業(ホームヘルプサービス)

要支援・要介護の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、排泄・食事・入浴等の身体介護や、掃除・調理等の生活援助を行った。

◆実績

			ぽっぽ ひがしうじ	ぽっぽ	計	昨年度
＊ 介 護 給 付	身 体 介 護	延利用人数	517 名	747 名	1,264 名	1,089 名
		延派遣回数	5,270 回	8,632 回	13,902 回	14,918 回
	身 体・生 活	延利用人数	322 名	309 名	631 名	603 名
		延派遣回数	2,506 回	2,353 回	4,859 回	4,567 回
	生 活 援 助	延利用人数	447 名	775 名	1,222 名	1,278 名
		延派遣回数	2,431 回	4,145 回	6,576 回	7,458 回
＊ 予 防 給 付	予 防 介 護Ⅰ (週 1 回程度の訪問)	延利用人数	513 名	267 名	780 名	736 名
		延派遣回数	2,041 回	942 回	2,983 回	2,860 回
	予 防 介 護Ⅱ (週 2 回程度の訪問)	延利用人数	66 名	113 名	179 名	141 名
		延派遣回数	535 回	896 回	1,431 回	1,157 回
	予 防 介 護Ⅲ (週 2 回程度を超える訪問)	延利用人数	7 名	1 名	8 名	0 名
		延派遣回数	88 回	1 回	89 回	0 回
総合 事業	生活支援型訪問サービス (週1回程度の家事)	延利用人数	15 名	32 名	47 名	71 名
		延派遣回数	56 回	109 回	165 回	273 回
計		延利用人数	1,887 名	2,244 名	4,131 名	3,918 名
		延派遣回数	12,927 回	17,078 回	30,005 回	31,233 回

※介護給付は要介護 1～5 の方、予防給付は要支援 1～2 の方、総合事業は事業対象者・要支援の方を対象

◆各事業所の特徴

【ぽっぽ】

令和 6 年度と比べると実利用人数は増えたが、延利用人数が下がり、運営的には客単価の伸び悩みが課題であった。ヘルパーの高齢化により契約時間数の減少もあったが、2 名の入職があり、31 名(令和 8 年 3 月 31 日現在)と 4 名のサービス提供責任者で、現行体制を維持している。

【ぽっぽひがしうじ】

利用者数は入退院や施設入所により増減があるものの、数字そのものは比較的安定している。ヘルパーの新規採用がなく、在籍するヘルパーも高齢になってきている。専門職として介護技術・知識の向上を図るとともに、自己健康管理をしながらサービスの提供に当たりたい。

通所介護事業(デイサービス)

要支援・要介護状態の方に対して、通所(送迎)による入浴、食事等の各種サービス、及びそれぞれのニーズに応じた介護、機能訓練等を提供し、利用者個々に満足してもらえるサービスの提供を行った。

◆実績

	西小倉		東宇治	広野	中宇治	計	昨年度
施設区分	通常型	認知症型	通常型	通常型	短時間型		
定員	25名	10名	25名	23名	30名	113名	113名
運営日数	361日	309日	309日	361日	309日		
延利用人員	7,526名	2,129名	5,680名	7,048名	7,034名	29,417名	29,846名
事業対象者	0	0	0	0	377	377	392
要支援1	147	0	57	91	3,573	3,868	3,073
要支援2	429	1	428	415	3,084	4,357	3,877
要介護1	2,868	451	2,242	2,281		7,842	8,786
要介護2	2,474	560	2,204	2,022		7,260	7,725
要介護3	798	616	399	1,097		2,910	3,728
要介護4	637	327	245	750		1,959	1,613
要介護5	173	174	105	392		844	652
1日平均人数	20.8名	6.9名	18.4名	19.5名	22.8名		

◆各事業所の特徴

【西小倉】

通常規模型の年間稼働率は83.4%であった。前年度を上回るペースの新規を獲得できたが、それ以上のペースで廃止者(入院や入所、逝去等の理由)があり、前年度よりも稼働率が下回った。また、認知症対応型の年間稼働率は68.9%であった。

今年度は20代のプロパー職員が2名入職し、プロパー職員6名中3名が20代と若返りの年となった。

【東宇治】

10月から職員が4名体制となり、介護職員の確保もでき、積極的に新規受け入れを行った。しかし、新規受け入れ18名に対して休止者が23名となり、特に8月末からは新型コロナウイルス感染症の集団感染もあり、入院者、欠席が増え、結果的に年間稼働率も73.5%に低迷した。また、入れ替えを念頭に置いた特殊浴槽の見学や、時間外の削減等にも努めた。

【広野】

年間平均稼働率84.9%、要介護3～5の割合が31.8%で、公社内でも中重度の利用者の割合が高く、職員の平均年齢も高くなっている。職員の負担軽減を図るために特殊浴槽の導入に向けての検討を行った。

また、魅力発信のため、独自でインスタグラムを開設し、2,700名のフォロワーを得て、内外にPRした。

【中宇治】

年間の平均稼働率が75.9%となり、3月には稼働率も初めて80%を超え、定員に対する充足率も3月時点で91.7%となった。年間の新規利用者43名に対して廃止者も年間40名あり、廃止者の平均年齢84.9歳、平均利用日数も1年2カ月であった。利用者の高齢化が顕著である。

障害者総合支援事業

<定款第4条(7)> 障害者福祉サービスに関する事業

<定款第4条(8)> 障害児福祉サービスに関する事業



【ヘルパー全体会議の様子】



【相談支援のひとこま】

居宅介護事業(ホームヘルプサービス)

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

◆実績

	東宇治	ぽっぽ	計	昨年度
実利用者数	34 名	41 名	75 名	66 名
派遣回数	4,457 回	5,539 回	9,996 回	12,163 回
派遣時間	4,298 時間	4,610 時間	8,908 時間	10,784 時間 15 分

移動支援

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、外出のための移動支援を行った。

◆実績

	東宇治	ぽっぽ	計	昨年度
実利用者数	2 名	3 名	5 名	5 名
派遣回数	147 回	7 回	154 回	202 回
派遣時間	98 時間 20 分	9 時間 45 分	108 時間 5 分	120 時間 45 分

◆各事業所の特徴

【ぽっぽ】 利用者の多様なニーズに応えるべく、障害特性を踏まえた対応ができるよう研修の機会をつくり、個々のスキルアップの意識をもって業務に臨んだ。

【東宇治】 利用者が望む生活の在り方や目標について、共感的態度を意識しながら地域での暮らしを支援できるように取り組んだ。

障害者相談支援センター

障害児・者、その家族が抱える悩みや困りごとについての相談をお受けし、一人ひとりが望む地域生活の実現のために、専任で2名の相談支援専門員を配置してサービス等利用計画支援を行った。

◆実績

	サービス利用計画作成	昨年度
総件数	894 件	915 件
実人数	103 名	103 名

宇治市からの受託事業

<定款第4条(9)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業



【地域の総合相談窓口 地域包括支援センター】

訪問型事業

1) 訪問指導事業(健康増進法に基づく事業)

40 歳以上 65 歳未満の心身機能が低下している方を対象に、自宅に訪問し、運動指導や日常生活動作指導を行う事業。

◆実績 実施回数：1 回

2) 訪問型短期集中予防サービス

短期集中予防サービスの訪問型のうち、主に運動面に係る支援について、地域包括支援センター等のケアマネジャーが作成するプランに基づき、1 対象者当たり 3 ヶ月間で最大 6 回の支援を行う。

◆実績

	件数	実利用者数
通所型併用	77 件	61 名
訪問型	115 件	21 名
計	192 件	82 名

通所型介護予防事業

1) 健康倶楽部

65 歳以上の市民を対象に、市政だよりで募集し抽選で決定した対象者に対して、運動器向上プログラムを中心とした一般介護予防事業「健康倶楽部」を行った。

◆スロートレーニング教室 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第 2 位を四捨五入)
前期 6 会場	120 回	116 名	1,951 名	16.3 名
後期 6 会場	120 回	108 名	1,744 名	14.5 名
合計	240 回	224 名	3,695 名	15.4 名

◆パワリハトレーニング教室 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第 2 位を四捨五入)
A広野地福	80 回	69 名	1,168 名	14.6 名
B黄檗体育館	80 回	45 名	787 名	9.8 名
C広野地福	80 回	62 名	1,067 名	13.3 名
計	240 回	176 名	3,022 名	12.6 名

2) 通所型短期集中予防サービス

短期間で集中的に心身機能の向上に取り組み、生活課題を改善し日常生活への定着を目標とするサービスとして、栄養・口腔ケアの内容を含む複合型のコースを 2 会場それぞれ週 1 回ずつ実施した。一人につき 10 回を 1 クールとし、各会場年間 40 回の予定で開催した。

◆通所型短期集中予防サービス 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第 2 位を四捨五入)
東宇治地福	40 回	33 名	253 名	6.3 名
広野地福	40 回	29 名	198 名	5.0 名
計	80 回	62 名	451 名	5.6 名

3) セルフパワリハ

65 歳以上の利用希望者で、宇治市担当課で受け付け、登録された方が実施日に広野地域福祉センターへ来所してトレーニングを行う事業であり、利用者の自己管理・自主トレーニングを基本とし、機器操作や運動方法、安全管理等を専門職が指導した。

◆実績

会場	実施回数	新規 登録者数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第 2 位を四捨五入)
広野地福	90 回	19 名	3,610 名	40.1 名

4) 認知症予防教室

65 歳以上で認知機能の活性化に関心のある方に対して、市内の介護予防拠点施設を中心に市内 8 会場 (4 会場×2 クール) で「あたまイキイキ教室」を開催した。

◆実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第 2 位を四捨五入)
市内 8 会場	160 回	144 名	2,400 名	15.0 名

5) 地域リハビリテーション活動支援事業(地域 de げんき講座)

地域で介護予防に取り組むグループの活動や自主グループの立ち上げを支援する目的で、リハビリテーション専門職等が地域の活動の場へ出向き、グループの要望に応じた講話や運動プログラムの体験を提供し、介護予防の啓発や身近な地域での健康維持・増進に役立てていただく事業を行った。

◆実績

内訳	実績
実団体数	46 団体
実施回数	83 回
延参加者数	1,068 名

6) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業(フレイル予防教室)

宇治市民中心の地域団体へ、栄養・口腔・運動 3 つの出前講座を行う事業で、運動講座を担当した。市が派遣を決定した介護予防に資する通いの場を運営する団体に、リハビリの専門職が出向き、体力測定や体操実技指導などを実施した。

◆実績 31 団体、延べ 380 名



【理学療法士による専門的な指導が好評の介護予防教室】

地域包括支援センター運営事業

市からの受託事業として、市内 3 カ所(西宇治、東宇治南、中宇治)を拠点に、地域包括支援センターの運営事業を行った。

1) 介護予防支援事業(事業対象者・要支援 1・2 の方の給付管理)

◆実績

		西宇治	東宇治南	中宇治	計	昨年度
予防給付年間 給付管理件数	直接	2,074 件	2,534 件	2,522 件	7,130 件	6,437 件
	委託	1,633 件	1,175 件	1,305 件	4,113 件	3,787 件
	計	3,707 件	3,709 件	3,827 件	11,243 件	10,224 件
新規件数		117 件	110 件	129 件	356 件	325 件

2) 総合相談・権利擁護・包括的支援事業

◆実績

相談対応の内容等	西宇治	東宇治南	中宇治	計	昨年度
新規相談者数	619 名	471 名	481 名	1,571 名	1,695 名
(再掲)独居・高齢者世帯	343 名	295 名	310 名	948 名	982 名
(再掲)認知症・精神疾患	123 名	112 名	99 名	334 名	364 名
相談延べ人数	2,588 名	1,350 名	2,124 名	6,062 名	6,856 名
高齢者虐待に関すること(延べ)	175 名	53 名	60 名	288 名	240 名
ケ ア マ ネ 支 援(実人数)	14 名	11 名	28 名	53 名	32 名

3) 小地域包括ケア会議開催

◆開催状況一覧

包括名	開催日	参加者数	テーマ
西宇治	10 月 1 日	15 名	介護保険サービスの利用に依存しない介護予防への取り組みについての、選択肢の普及
	11 月 17 日	15 名	孤立化している地域高齢者とのかわり方について
東宇治南	6 月 4 日	11 名	近隣スーパーの閉店に伴う課題について
	9 月 12 日	20 名	半年間地域であつまれ元気の森を開催して
中宇治	6 月 30 日	17 名	地域で支えていくために、思いを一つに
	7 月 17 日	15 名	地域で見守られ、安心して生活が送れるよう支援を考える
	11 月 26 日	16 名	地域の担い手と専門職が顔の見える関係となり連携体制をつくろう
	12 月 12 日	18 名	移動手段について語り合おう

4) 脳活性化事業

地域において認知症の正しい理解を広げ、自主的に介護予防に取り組んでいただくために、認知症についての情報提供や、体操、レクリエーション等を行う教室を包括圏域ごとに実施した。

「レッツにしうじ」(西宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	西小倉地域福祉センター(火)	6 回	93 名
	西小倉地域福祉センター(金)	6 回	80 名
後期	西小倉地域福祉センター(火)	6 回	98 名
	西小倉地域福祉センター(金)	6 回	73 名
計		24 回	344 名

「あつまれ元気の森」(東宇治南圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	五ヶ庄東集会所	12 回	190 名
後期	東宇治地域福祉センター	6 回	125 名
	木幡公民館	6 回	172 名
計		24 回	487 名

「おいでやす脳活道場」(中宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	宇治市福祉サービス公社中宇治事業所	6 回	72 名
	広野地域福祉センター	6 回	65 名
後期	宇治市福祉サービス公社中宇治事業所	6 回	50 名
	広野地域福祉センター	6 回	116 名
計		24 回	303 名

5) 初期認知症総合相談支援事業

初期認知症の人とその家族に対し、認知症の特性に配慮して切れ目のない早期からの支援を行うために、個々に応じた適切な医療、介護等との連携を図り、必要となる社会資源等を構築することを目的に実施した。

① 認知症対応型カフェの企画・管理

宇治市全域の「れもんカフェ」を 12 回開催した。

中宇治地域包括支援センターで管轄する 3 地域包括圏域のカフェを夫々 4 回で計 12 回、西宇治圏域で 12 回の「れもんカフェ」を開催した。

◆全域れもんカフェ 計 12 回

開催月	開催場所	ミニ講演テーマ	参加者数
4 月	京都認知症総合センター	安心して地域で暮らしていくために	21 名
5 月	東宇治地域福祉センター	見つめてみましょうあなたの心～認知症とともに歩んだ私が伝えられること～	20 名
6 月	宇治市総合福祉会館	認知症のお話～疾病観を変える～	23 名
7 月	ヴィラ鳳凰地域交流センター	認知症とともに生きる～私たちが伝えられること～	22 名
8 月	宇治市植物公園	夏休み SP O×クイズ！	17 名
9 月	京都認知症総合センター	認知症とともに～認知症観を変える～	18 名
10 月	ハーモニーやまはた	ハーモニーやまはたについて	17 名
11 月	ヴィラ鳳凰地域交流センター	楽しく 100 歳、支え合って！94 歳と 26 歳のトーク	21 名
12 月	京都文教大学	認知症とともに生きる「認知症にやさしいまち・うじ」の実現にむけて	27 名
12 月	京都翔英高等学校	認知症とともに生きる	19 名
1 月	宇治市植物公園	知ってる？やさしいまち	12 名
2 月	西宇治地域福祉センター	「認知症にやさしいまち・うじの実現を目指して～世代を超えての取り組み～」	34 名
計			251 名

※参加者数にスタッフ、講師、演者は含めない。

※11 月開催のカフェは、京都文教大学とのコラボであり、参加者数は本人、家族のみ。

◆圏域カフェ 計 24 回

圏域名	開催場所	回数	参加者数
西宇治圏域	西小倉地域福祉センター	12 回	200 名
東宇治南圏域	ユニ宇治川マンション、らくカフェ、五ヶ庄集会所、宝善院	4 回	64 名
南部・三室戸圏域	ビストロ de ナカガワ、宇治明星園、福角集会所、喫茶ファイブ	4 回	32 名
中宇治圏域	宇治教会、総合福祉会館、白川集会所、広野地域福祉センター	4 回	60 名
計	13 ヶ所	24 回	356 名

※北宇治地域包括支援センターが管轄する、槇島、北宇治、南宇治圏域と東宇治北圏域は除く。

② 認知症初期集中支援チーム事業の実施及び事例検討会の開催

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に早期から関わるための「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に実施した。

中宇治チームは市内 3 圏域を対象として、圏域の包括等との連携により実施し、新規ケース 15 件、西宇治圏域は新規ケース 7 件の計 22 件の訪問調査と、介護サービス導入や医療受診等必要な支援を行った。

◆チーム員会議

チーム員会議場所	会議開催	会議ケース	年度内終了	継続中
洛南病院	24 回	11 件	7 件	4 件
宇治おうばく病院	12 回	6 件	5 件	1 件
京都認知症総合センター	11 回	5 件	3 件	2 件
計	47 回	22 件	15 件	7 件
(予定未実施)	(1 回)	(5 件)	(2 件)	(3 件)

◆担当圏域との調整会議(事例検討会) *京都府立洛南病院ケアネットの一部で年 2 回開催

宇治市、地域包括支援センターと一緒に、初期集中支援チームのケースについて事例や傾向を共有し、意見交換をした。また、残りの時間で、れもんカフェについても情報共有した。

③ れもねいだー養成講座、れもねいだーステップアップ講座の開催

国が進めるチームオレンジの宇治市版である「チームれもん」の立上げに向けて、新規のれもねいだーを養成するための「れもねいだー養成講座」と、既にれもねいだーとして活動されているれもねいだーを対象とした「れもねいだーステップアップ講座」として開催した。

◆【れもねいだー養成講座】

会 場：うじ安心館 3 階ホール

受講者数：27 名 新規れもねいだー登録者数：12 名

会 場：北宇治地域包括支援センター

受講者数：20 名 新規れもねいだー登録者数：17 名

◆【れもねいだー研修会】

会 場：うじ安心館 3 階ホール

受講者数：31 名(現：13 名・登録予定：18 名)

④ 認知症あんしんサポーター養成講座の開催及びキャラバン・メイト事務局運営

認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを育成するための養成講座の開催と、養成講座の講師であるキャラバン・メイトの事務局として、キャラバン・メイトのボランティア加入手続き及び年 2 回の新聞発行、年 2 回のフォローアップ研修を実施した。

◆認知症あんしんサポーター養成講座

開催回数：19 回

受講者数：735 名

◆宇治市キャラバン・メイトフォローアップ研修

開催日：8 月 29 日、2 月 3 日

会 場：うじ安心館

参加者：36 名

⑤ 宇治市認知症家族支援プログラム及び鈴の音会の開催支援

認知症の人と家族の会・京都支部が行う家族支援プログラムや OB 会である鈴の音会の開催の支援を行った。

◆宇治市認知症家族支援プログラム

会場：うじ安心館 5 階集団指導室、3 階大会議室

回数	開催日	内容・講師等	参加者
1	9 月 12 日	内容： つくろうネットワーク 講師： 認知症の人と家族の会 京都府支部	10 名
2	10 月 8 日	内容： 認知症の基本的な知識「学びましょう、認知症のこと」 講師： 宇治おうばく病院 樋川 毅 医師	12 名
3	11 月 14 日	内容： サービスのいろいろ「上手に使おうサービス利用」 講師： 南部・三室戸地域包括支援センター	12 名
4	12 月 12 日	内容： 介護の仕方と介護者の心「見つめてみましょう、あなたの心」 講師： 認知症の人と家族の会 京都支部	11 名
5	1 月 9 日	内容： 「認知症の人との関わり方」 講師： グループホーム事業所職員	9 名
6	2 月 13 日	内容： 医師との関わり方、薬について「医師と上手に付き合おう」 講師： かどさか内科クリニック 門阪 庄三 医師	9 名

◆鈴の音会

毎月第 4 金曜日に年 12 回(内 10 回は交流会、2 回は研修会)開催した。

回数	開催日	内容	講師	受講者
1	10 月 24 日	宇治市の認知症ケアパス「れもんパス」を活用しよう！	認知症コーディネーター	11 名
2	3 月 27 日	転倒予防について	宇治市福祉サービス公社 作業療法士 小暮 日菜子	6 名

6) 認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名(社会福祉士)と補助職員1名(看護師)を配置し、市が掲げる「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて事業を実施した。認知症の本人・家族の声をもとに、ボランティア(れもねいだー)や企業(れもねいど加盟企業・団体)との共働により、事業に取り組んだ。

① 第11回認知症フォーラム in 宇治の開催

【テーマ】「新しい認知症観とれもんカフェ」

【開催日】令和8年3月20日(祝) 11:00~16:00

【会場】宇治市生涯学習センター 第1ホール・第2ホール

【参加者】216名

② 宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」推進協議会の開催

宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」の事務局として、当事者、関係団体代表者等で構成された推進協議会を年2回開催した。

回数	開催日	会場	内容
1	9月29日	うじ安心館 3階ホール	今年度のれもねいど推進協議会について 令和6年度の事業報告 令和7年度の活動方針について 他
2	3月9日	うじ安心館 3階ホール	・下半期の活動報告及び今年度のまとめ ・令和8年度宇治市初期認知症総合相談支援事業について ・認知症フォーラムについて等

③ すずなりれもんの会

れもねいど加盟企業・団体、れもねいだー、認知症ご本人・ご家族、専門職の交流の場として年2回開催。

回数	開催日	会場	参加者	内容
1	6月23日	うじ安心館 3階ホール	本人5名、家族4名、れもねいだー11名、れもねいど加盟企業11名、スタッフ6名、オブザーバー9名	・れもねいどアクション報告 ・グループワーク
2	12月1日	うじ安心館 3階ホール	本人4名、家族4名、れもねいだー9名、れもねいど加盟企業8名、スタッフ7名、オブザーバー5名	・れもねいどアクション報告 ・グループワーク

④ 京都文教大学グループミーティング

京都文教大学での当事者グループミーティングは、全6回開催された。また、12月に開催された「ともいきフェスティバル」では全域れもんカフェを認知症当事者、家族、学生の協力を得て大学内で開催した。

⑤ れもねいだー交流会及びれもねいど通信の発行

◆れもねいだー交流会

れもねいだーの交流と資質向上のため年2回開催し、計25名の参加を得た。

◆れもねいど通信

「認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業」を中心に宇治市の認知症事業について広報するため、隔月で年 5 回通信を発行した。通信についてはホームページや Facebook、LINE などでも発信した。

⑥ しごとれもん

認知症当事者の方の就労を目的として、れもねいど加盟登録団体とともに取り組んだ。

◆茶摘み

宇治のシンボリックな取り組みとして今年で 11 年目の開催。認知症の本人 11 名、家族 8 名、れもねいど 9 名、スタッフその他 50 名の計 78 名(延べ 167 名)が参加した。10 日間で 117.41 kg の摘み高であった。

◆万願寺とうがらし収穫

9 年目の取り組みとして実施。認知症の本人 14 名、家族 8 名、れもねいど 14 名、スタッフその他 50 名の計 86 名が参加した。88.63kg の万願寺とうがらしを収穫し、れもねいど加盟登録企業・団体へ販売し、その一部を参加者に賃金として支払った。

◆こかぶ収穫

8 年目の取り組みとして実施。認知症の本人 14 名、家族 10 名、れもねいど 15 名、スタッフその他 28 名の計 67 名(延べ 114 名)が参加した。2 日間で計 903 個のこかぶを収穫し、れもねいど加盟登録企業・団体へ販売し、その一部を参加した認知症当事者に賃金として支払った。

宇治市地域福祉センター指定管理事業

指定管理者として、西小倉地域福祉センター、東宇治地域福祉センター、広野地域福祉センターの施設・設備にかかる管理運営を行った。

1) デイルーム等の利用状況

◆実績

	西小倉	東宇治	広野	合計	昨年度
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
男性	1,269 名	788 名	299 名	2,356 名	1,813 名
女性	903 名	1,565 名	2,242 名	4,710 名	3,904 名
計	2,172 名	2,353 名	2,541 名	7,066 名	5,717 名

※西小倉事業所のデイルームについては、毎週木曜日の午前中に、住民主体型通いサービスを実施中。

2) 施設の利用状況

◆実績

利用区分 ※()は広野での呼称	西小倉		東宇治		広野	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
ボランティアルーム	513 件	7,480 名				
地域交流室(会議室)	544 件	12,042 名	567 件	10,918 名	458 件	9,313 名
研修室 (介護者教育室)	544 件	12,042 名	567 件	10,918 名	457 件	9,416 名
料理教室	303 件	5,452 名	113 件	2,721 名	24 件	261 名
計	1,904 件	37,016 名	1,247 件	24,557 名	939 件	18,990 名

生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター業務)

1) 宇治市全体に関わる業務(1 層)

生活支援サービス等の担い手となるボランティアの養成等に関する業務(第 1 層)

① 人生 100 年時代を楽しく過ごすセミナー 定員: 50 名

宇治市を中心に元気に活躍されている高齢者の方に、ご自身の活動や、元気の源、生きがいについて語って頂くことで、参加者が自信の経験や知識、時間を様々な活動に活かしていくことの動機付け(宇治源輝人講座の受講促進)を図ることを目的に開催した。

会 場: 宇治市生涯学習センター第 2 ホール 参加者: 42 名

日時	内容
6 月 17 日	対談講演「つながりあって 支えあう」 細井 恵美子 氏 × 川北 雄一郎(宇治市福祉サービス公社 事務局長)

② 第 1 期宇治源輝人講座(初級編) 定員: 20 名

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域住民の暮らしを支えるボランティアとしてや新たに地域での活動に参加いただく担い手を養成することを目的に講座を開催した。

また、宇治源輝人(うじげんきびと)講座受講修了後、健康長寿サポーターに登録された方を対象に、健康長寿サポーターステップアップ講座を開催した。

開催日	会場	登録者数/受講者数
7 月 15 日・17 日	宇治市生涯学習センター(第2ホール)	2 名/7 名
7 月 22 日・24 日	小倉小学校2階(介護者教室)	3 名/7 名
3 月 10 日・12 日	宇治市生涯学習センター(第2ホール)	10 名/13 名
3 月 16 日・19 日	広野地域福祉センター デイルーム	3 名/5 名

③ 第1回宇治市健康長寿サポーターステップアップ講座(実践編)

会 場：宇治市生涯学習センター(第2ホール) 参加者：31名

開催日	内 容
7月29日	○「耳のことについて」 講師：藤田 ひとみ氏 宇治市聴覚障害者生活支援センター「そら」

④ 第2回宇治市健康長寿サポーターステップアップ講座(実践編)

会 場：西小倉地域福祉センター・木幡地域福祉センター・萬福寺

開催日・参加者	内 容
10月1日 参加者：13名	○「薬のことについて～かかりつけ薬剤師はいますか？～」 講師：木村 直幸氏(ウエルシア薬局 薬剤師)
10月10日 参加者：17名	○「国宝！萬福寺へ行こう!!」 案内：石崎 利壽氏(観光ボランティア)
10月21日 参加者：22名	○「薬膳～日々の健康を食から考えてみませんか？～」 講師：中田 香氏(健康長寿サポーター)
10月30日 参加者：8名(一般10名)	○「健康長寿とフレイル予防」 講師：弘中 信正氏(介護予防運動指導員)

⑤ 住民主体型サポーター間の意見交流会

サポーター間の交流や情報交換を目的に通いの場・生活支援等のメンバーで運営上の課題等の情報交換や意見交換を実施した。

◆通所型交流会

- ・開催日時：7月5日(土)10:00～13:00
- ・会 場：宇治市内民家
- ・参加者：15名

◆健康長寿サポーター全体交流会

- ・開催日時：9月2日(火)14:00～16:00
- ・会 場：三笑堂ショールーム、京都テルサ(昼食会場)
- ・参加者：26名

⑥ 通いの場立ち上げ支援・運営支援

既に活動を行っている通いの場に対して、定期訪問により、運営に必要な情報提供や、体力測定の実施等を行った。また、これから通いの場の立上げを目指す団体等に対して、地域での必要な資源の発掘・調査・地域でのお困り事などへの対応や、必要に応じて講師派遣などの調整を行った。

- ◆通いの場運営支援(9団体)
- ◆生活支援団体運営支援(1団体)

- ◆地域での活動支援(9 団体)
- ◆立ち上げを目指す団体等の支援 (4 団体)

⑦ 令和 7 年度 第 10 回宇治市健康長寿フェス 2026 の開催

「生きがいを持って、活躍できる地域へ～人生 100 年時代を目指して～」

開催日: 令和 8 年 2 月 21 日(土) 会 場: 宇治市生涯学習センター
参加者数: 400 名(スタッフ・関係団体等含む)
内 容 【第 1 ホール】 ・オープニングダンス(長生き音頭・マツケンサンバⅡ) ・各団体紹介(5 団体) ・講演 山下 憲昭 氏(大谷大学名誉教授) 「超高齢社会の現実と宇治のこれから～おたがいさまの町づくりを今ふたたび～」 ・トークセッション(山下先生×宇治市生活支援コーディネーター) 【第 2 ホール】 各種体験コーナー 【ロビー】 各団体展示パネル・健康長寿サポーター紹介・生活支援体制整備事業紹介 【第 3 ホール】 体験コーナー

2) 日常生活圏域への取り組み(2 層)

① 第 2 層協議体への支援

担当する 2 圏域(中宇治圏域、西宇治圏域)の第 2 層協議体活動について、中宇治圏域 3 団体、西宇治圏域 7 団体の活動に参加し、必要な支援を行った。

② 資源開発に関する業務

地域組織等への働きかけ・広報啓発として、町内会やサロン、自治会などの会議の場に出向き、支え合いの大切さ、地域のつながりの大切さについて問いかけ、地域づくりの基盤づくりを行った。

3) 会議等への出務

① 生活支援体制整備事業事務局会議への出席

宇治市における生活支援体制整備事業を推進していくため、宇治市、宇治市社会福祉協議会、宇治市福祉サービス公社の三者が集まっての事務局会議の他、宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(年 2 回)に出席。

② 地域包括支援センター主催会議への出席

③ 自立支援会議(中宇治・西宇治圏域)への出席 全 3 回

④ 小地域包括ケア推進会(中宇治圏域)への出席 全 2 回

4)「はじめよう、セカンドライフ」

退職後あるいは退職を控えセカンドライフの過ごし方を考えている人や新しく生涯学習やボランティア活動を始めたいと考えている人、また 活動について悩んでいる人を対象として、培った知識や経験を活かし、これからの過ごし方についてのきっかけとなるよう、生涯学習や地域活動、ボランティア活動に関する情報や、参加者同士の交流の場を提供するため、「はじめよう！セカンドライフ」を宇治市生涯学習センター、宇治ボランティア活動センター、宇治市福祉サービス公社の三者で年2回企画・実施した。

開催日	内容	講師
6月4日	「捨ててこそ～身軽になったら自由になれる」	石田 易司 氏(桃山学院大学名誉教授)
6月18日	「豊かな時間の過ごし方ヒント～体験者のお話から～」	渡辺 正枝 氏(からくりおもちゃと移動絵本館 WATANABE)
11月4日	「元気の出るセカンドライフを一緒に考えましょう」	岡野 英一 氏(京都ボランティア協会事務局長)
11月18日	「豊かな時間の過ごし方ヒント～体験者のお話から～」	松倉 健三 氏(宇治市健康長寿サポーター)

乳児子育て世帯訪問支援事業

宇治市福祉こども部保健推進課の事業のうち、訪問による家事支援の事業を受託し、介護福祉士等資格を有するサポーターを派遣した。

◆実績

内訳	令和7年度	昨年度
実利用者数	42名	35名
延べ利用回数	218回	147回
延べ利用時間	357時間	251時間

子育て世帯支援事業(訪問型)

いわゆるヤングケアラーがいる世帯等に対して、介護福祉士等資格を有するサポーターを派遣し、家事支援を行った。

◆実績

内訳	令和7年度	昨年度
実利用者数	9名	15名
延べ利用回数	49回	81回
延べ利用時間	85時間	144時間25分

福祉人材研修事業

開催日	会場	テーマ	講師	参加者
6月18日	宇治市役所 8 階 大会議室	介護人材初任者研修 (法定研修準拠)	岡本 匡弘 氏 京都保育福祉専門学院副学院長	20 名
7月17日	宇治市生涯学習 センター第 2 ホール	研修効果向上研修 「研修を通じて学び合う組織風土を 醸成する!!」	古川 英宏 氏 (社福)堺福祉会特別養護老人ホーム ハートピア堺 施設長	17 名
8月19日	宇治市生涯学習 センター第 2 ホール	権利擁護・成年後見制度研修	藤村 明生 氏 特定非営利活動法人山城権利擁護 ネットワーク 理事長	46 名
9月17日	宇治市生涯学習 センター第 1 ホール	介護技術スキル UP 研修 「ポジショニングについて学ぼう!」	神内 昭次 氏 (社福)京都福祉サービス協会人材 マネジメント部 人事部担当部長	21 名
10月17日	宇治市生涯学習 センター第 2 ホール	身体拘束・虐待対応スキル UP 研修 (法定研修準拠)	今井 昭二 氏 京都府障害者・高齢者権利擁護支 援センター 社会福祉士 吉崎 祐美子 氏 宇治市健康長寿部長寿生きがい課 権利擁護担当職員	43 名
11月18日	宇治市役所 8 階 大会議室	対人援助スキル UP 研修	乾 美代子 氏・高畠 千紗 氏 京都府山城北保健所保健課 感染 症・難病係 保健師	35 名
12月15日	宇治市役所 8 階 大会議室	アセスメント力 UP 研修 ～多職種連携に基づくアセスメント について学ぼう!～	井上 基 氏 (医)三幸会 生活サポートセンター 部長	33 名
1月16日	うじ安心館 3 階ホール	栄養改善と口腔機能向上に関 する研修	宮崎 圭子 氏 京都府栄養士会 常務理事 矢田 直美 氏 京都府歯科衛生士会	24 名
2月26日	宇治市生涯学習 センター第 2 ホール	介護現場における ICT・介護 DX 基礎研修「生産性向上どうし てる?～デジタルもアナログも～」	鎌田 大啓 氏 (株)TRAPE 代表取締役兼 CEO	24 名
3月17日	宇治市役所 8 階 大会議室	いつもの事例検討とは一味違 う推論研修	野村 裕美 氏 同志社大学 社会学部社会福祉学 科 教授	19 名

理事会議案第 2 号
評議員会議案第 2 号

「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2025 年度（令和 7 年度）決算報告書」
について

一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2025 年度（令和 7 年度）収支決算を次のとおり報告する。

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 栢 木 利 和

令和 8 年 5 月 28 日 理事会 提出・可決
令和 8 年 6 月 23 日 定時評議員会 提出・可決

2025 年度（令和 7 年度）

決 算 報 告 書

（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

貸借対照表

令和8年3月31日 現在

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	136,828,221	133,058,223	3,769,998
未収金	112,351,598	114,418,227	△ 2,066,629
前払金	272,287	341,807	△ 69,520
仮払金	1,105,033	0	1,105,033
立替金	292,552	17,127	275,425
貸倒引当金	△ 660,000	△ 660,000	0
流動資産合計	250,189,691	247,175,384	3,014,307
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
定期)京都銀行	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定財産			
公益目的特定資産	0	0	0
高齢者福祉事業基金	1,000,000	1,000,000	0
財務運営調整基金	20,000,000	20,000,000	0
特定資産合計	21,000,000	21,000,000	0
(3) その他固定資産			
建物	27,137,151	27,137,151	0
建物減価償却累計額	△ 14,830,829	△ 11,825,868	△ 3,004,961
建物付属設備	29,543,609	29,543,609	0
建物付属設備減価償却累計額	△ 19,666,094	△ 17,721,638	△ 1,944,456
什器備品	10,932,908	11,447,972	△ 515,064
什器備品減価償却累計額	△ 9,956,824	△ 10,239,390	282,566
車両運搬具	3,183,750	3,813,750	△ 630,000
車両運搬具減価償却累計額	△ 3,183,749	△ 3,813,748	629,999
リース資産	34,630,200	32,694,540	1,935,660
リース資産減価償却累計額	△ 6,742,560	△ 26,475,030	19,732,470
ソフトウェア	1,404,856	1,636,938	△ 232,082
電話加入権	305,760	305,760	0
構築物	700,000	700,000	0
構築物減価償却累計額	△ 637,009	△ 605,405	△ 31,604
一括償却資産	0	0	0
その他固定資産合計	52,821,169	36,598,641	16,222,528
固定資産合計	83,821,169	67,598,641	16,222,528
資産合計	334,010,860	314,774,025	19,236,835

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	60,110,105	60,511,305	△ 401,200
預り金	3,854,618	5,026,368	△ 1,171,750
法人税等充当金	2,161,400	9,130,800	△ 6,969,400
賞与引当金	29,470,000	31,126,000	△ 1,656,000
流動負債合計	95,596,123	105,794,473	△ 10,198,350
2. 固定負債			
長期借入金	19,525,000	22,825,000	△ 3,300,000
リース債務	27,683,260	6,019,750	21,663,510
退職給付引当金	37,462,142	37,462,142	0
固定負債合計	84,670,402	66,306,892	18,363,510
負債合計	180,266,525	172,101,365	8,165,160

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当金)		0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	153,744,335	142,672,660	11,071,675
うち基本財産充当額(一般)	10,000,000	10,000,000	0
うち特定財産充当額(一般)	21,000,000	21,000,000	0
正味財産合計	153,744,335	142,672,660	11,071,675
負債及び正味財産合計	334,010,860	314,774,025	19,236,835

正味財産増減計算書

令和7年4月01日から

令和8年3月31日まで

全事業

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,500	3,506	△ 1,006
基本財産受取利息	2,500	3,506	△ 1,006
受取会費	337,000	364,000	△ 27,000
賛助会員受取会費	337,000	364,000	△ 27,000
事業収益	801,728,397	828,308,983	△ 26,580,586
介護保険収益	370,810,499	402,160,749	△ 31,350,250
介護予防収益	110,616,747	99,566,271	11,050,476
介護保険外収益	78,552,831	89,951,563	△ 11,398,732
利用者負担金収益	59,164,940	59,369,123	△ 204,183
福祉情報センター事業収益	485,340	927,500	△ 442,160
受託事業収益	182,098,040	176,333,777	5,764,263
受取補助金	7,609,670	2,244,548	5,365,122
地方公共団体等補助金	7,609,670	2,244,548	5,365,122
受取利息配当金収益	315,124	88,250	226,874
雑収益	5,380,780	4,235,402	1,145,378
経常収益計	815,373,471	835,244,689	△ 19,871,218

(単位:円)

勘 定 科 目 名	当年度	前年度	増減
(2)経常費用			
事業費			
役員報酬	0	0	0
給料手当	216,174,618	208,725,277	7,449,341
アルバイト賃金	224,564,258	225,311,018	△ 746,760
職員賞与	56,552,381	57,743,517	△ 1,191,136
退職金	3,426,670	3,194,400	232,270
法定福利費	64,214,938	65,055,814	△ 840,876
福利厚生費	2,672,803	2,710,188	△ 37,385
給食材料費	13,197,328	12,528,934	668,394
会議費	0	0	0
旅費交通費	209,370	155,360	54,010
通信運搬費	5,659,356	5,913,928	△ 254,572
消耗品費	6,238,685	6,532,339	△ 293,654
修繕費	4,567,668	6,189,152	△ 1,621,484
印刷製本費	460,841	494,066	△ 33,225
燃料費	4,561,486	4,418,385	143,101
光熱水費	8,042,853	8,245,159	△ 202,306
支払助成金	0	0	0
賃借料	13,888,226	14,123,166	△ 234,940
保険料	3,974,348	4,615,774	△ 641,426
諸謝金	2,546,308	1,992,647	553,661
租税公課	246,270	266,170	△ 19,900
支払負担金	1,297,456	519,530	777,926
委託費	30,542,058	28,252,194	2,289,864
備品費	298,452	767,656	△ 469,204
手数料	282,430	250,609	31,821
使用料	1,955,221	1,937,576	17,645
広告料	0	0	0
支払寄附金	0	0	0
雑費	1,590	5,740	△ 4,150

勘 定 科 目 名	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	8,381,700	7,782,930	598,770
給料手当	30,686,353	31,887,688	△ 1,201,335
アルバイト賃金	5,574,729	5,050,068	524,661
職員賞与	8,611,136	11,542,532	△ 2,931,396
退職金	795,000	862,040	△ 67,040
法定福利費	9,160,420	9,070,338	90,082
福利厚生費	2,301,400	1,745,650	555,750
委託人件費	5,500,000	5,500,000	0
給食材料費	0	0	0
会議費	54,924	29,200	25,724
旅費交通費	108,150	67,770	40,380
通信運搬費	1,882,743	1,898,988	△ 16,245
消耗品費	1,671,888	1,564,556	107,332
修繕費	1,261,425	816,317	445,108
印刷製本費	461,266	385,071	76,195
燃料費	154,457	174,116	△ 19,659
光熱水費	16,002,818	16,421,219	△ 418,401
賃借料	4,197,762	4,338,942	△ 141,180
保険料	487,728	450,884	36,844
諸謝金	4,535,140	3,860,534	674,606
租税公課	5,093,700	5,227,624	△ 133,924
支払負担金	1,215,058	584,690	630,368
委託費	9,607,694	8,862,763	744,931
備品費	69,240	1,232,890	△ 1,163,650
手数料	5,435,166	7,453,363	△ 2,018,197
使用料	447,507	450,613	△ 3,106
広告料	236,500	220,000	16,500
支払寄附金	0	0	0
雑費	4,163	0	4,163
貸倒損失	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
支払利息	191,808	221,508	△ 29,700
建物減価償却費	3,004,961	3,004,961	0
建物附属減価償却費	1,944,456	2,030,576	△ 86,120
構築物減価償却費	31,604	31,604	0
什器備品減価償却費	232,498	266,088	△ 33,590
車両減価償却費	0	0	0
少額減価償却資産減価償却費	473,000	2,884,183	△ 2,411,183
リース資産減価償却費	6,078,270	4,959,127	1,119,143
一括償却資産減価償却費	0	325,921	△ 325,921
ソフトウェア減価償却費	621,482	411,337	210,145
経常費用計	802,091,760	801,564,690	527,070
当期経常増減額	13,281,711	33,679,999	△ 20,398,288

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
介護慰労金補助金収益	0	0	0
貸倒引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
固定資産圧縮損	0	0	0
介護慰労金費用	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
税引前当期一般正味財産増減額	13,281,710	33,679,999	△ 20,398,289
法人税等	2,210,035	9,144,841	△ 6,934,806
当期一般正味財産増減額	11,071,675	24,535,158	△ 13,463,483
一般正味財産期首残高	142,672,660	118,137,502	24,535,158
一般正味財産期末残高	153,744,335	142,672,660	11,071,675

Ⅱ. 指定正味財産の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

Ⅲ. 正味財産期末残高	153,744,335	142,672,660	11,071,675
-------------	-------------	-------------	------------

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

この財務諸表は、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、 平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
建物付属設備・構築物	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、 平成19年4月1日以後に取得したものについては定率法、 平成28年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
その他の有形固定資産	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、 平成19年4月1日以後に取得したものについては定率法によっている。
所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産	リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
ソフトウェア	定額法

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、未収入金の期末残高に法人税法の規定により計算した金額を貸倒引当金として計上している。

② 賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、翌期の賞与支給予定額のうち当期に含まれる支給対象期間に対応する金額を賞与引当金として計上している。

③ 退職給付引当金

当社は、平成16年5月より退職金制度を確定拠出型の中小企業退職金共済制度に移行した。ただし、従来の退職金制度により計算される退職一時金の額が中退共より支給される額を超える場合は不足額が当公社より補填される特約があるため、これに該当する職員については当期末要支給額から中退共よりの当期末支給額を控除した金額を退職給付引当金として計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
但し、リース契約1件当たりのリース料総額が300万以下の取引等については賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定財産				
高齢者福祉事業基金	1,000,000	0	0	1,000,000
財政運営調整基金	20,000,000	0	0	20,000,000
小計	21,000,000	0	0	21,000,000
合計	31,000,000	0	0	31,000,000

3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

基本財産及び特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
京都銀行 定期預金	10,000,000	0	(10,000,000)	0
小計	10,000,000	0	(10,000,000)	0
特定財産				
高齢者福祉事業基金	1,000,000	0	(1,000,000)	0
財政運営調整基金	20,000,000	0	(20,000,000)	0
小計	21,000,000	0	(21,000,000)	0
合計	31,000,000	0	(31,000,000)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	27,137,151	14,830,829	12,306,322
建物附属設備	29,543,609	19,666,094	9,877,515
構築物	700,000	637,009	62,991
什器備品	10,932,908	9,956,824	976,084
車両運搬具	3,183,750	3,183,749	1
リース資産	34,630,200	6,742,560	27,887,640
ソフトウェア	3,525,522	2,120,666	1,404,856
合 計	109,653,140	57,137,731	52,515,409

注) 什器備品の取得価額は地方公共団体補助金による固定資産圧縮額6,287,366円を控除した後の金額である。

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	記載区分
介護職員処遇改善加算支援補助金	京都府	0	927,103	927,103	0	一般正味財産
介護人材確保・職場環境改交付金等事業	京都府	0	1,770,883	1,770,883	0	一般正味財産
医療機関等物価高騰対策事業交付金	京都府	0	448,000	448,000	0	一般正味財産
障害福祉人材確保・職場環境改善等事業交付金	京都府	0	733,684	733,684	0	一般正味財産
介護保険・障害福祉施設等物価高騰対策事業交付金	宇治市	0	830,000	830,000	0	一般正味財産
キャリアアップ助成金	京都労働局	0	2,900,000	2,900,000	0	一般正味財産
		0			0	一般正味財産
合 計		0	7,609,670	7,609,670	0	

6. その他

該当なし

貸借対照表に関する注記

実施事業資産は、次の通りである。

(単位：円)	
項目	金額
実施事業資産	0

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に内容を記載しております。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	660,000	660,000	0	660,000	660,000
賞与引当金	31,126,000	29,470,000	31,126,000	0	29,470,000
退職給付引当金	37,462,142	0	0	0	37,462,142
小 計	69,248,142	30,130,000	31,126,000	660,000	67,592,142

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、仮払金、未払金、預り金、仮受金及び法人税等充当金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	133,058,223	136,828,221
未収金	114,418,227	112,351,598
前払金	341,807	272,287
仮払金	0	1,105,033
立替金	17,127	292,552
合 計	247,835,384	250,849,691
未払金	60,511,305	60,110,105
預り金	5,026,368	3,854,618
仮受金	0	0
法人税等充当金	9,130,800	2,161,400
合 計	74,668,473	66,126,123
次期繰越収支差額	173,166,911	184,723,568

監 査 報 告 書

令和8年5月18日

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 栢 木 利 和 様

監事

江田 正彦

監事

印

私たち監事は、法令及び当公社定款の規定に基づき、一般財団法人宇治市福祉サービス公社(以下「当公社」という。)の2025年度(令和7年度)令和7年4月1日から令和8年3月31日までの監査を実施したので、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事からその職務の執行状況についての報告を聴取し、また、当公社の事務所において、帳簿並びに重要な書類等を閲覧するとともに、事業報告等及び計算書類等を受領してその説明を受け、これらについての検討を行いました。

2. 監査の結果

(1)事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、当公社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

(2)計算書類及びその付属明細書の監査結果

- ① 計算書類及び付属明細書は当公社の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上